

## 予算編成方針

令和6年度予算は、「令和6年度当初予算編成に向けて」（令和5年7月28日通知。）に基づき、新型コロナウイルス感染症の経験を踏まえた、持続可能な未来へ歩みを進めるとともに、市民が将来に希望が持てる徳島市の構築を目指し編成する。

そのため、特に次の取組に対してより優先的に財源を配分する。また、財政運営のレジリエンス（強靱性）向上に取り組みつつ、本市の将来を見据えた重要施策に関する選択肢をせばめてはならない。各部局においては、それぞれが作成した部局基本方針に掲げた目標や、市長等からの指示事項を踏まえ、限られた財源の中で、実効性を見極めつつ、予算要求段階から、予算の優先化、重点化に取り組むこと。継続事業に関しても、漫然と既存事業を継続するのではなく、国・県の制度変更等により、活用できる財源が創設されていないか確認するとともに、時代や市民ニーズの変化を踏まえ、事業の意義や役割を改めて検討し、廃止・休止を含めた抜本的な見直しを十分に行うこと。

### 【令和6年度当初予算で財源を重点配分する取組】

#### (1) 活力あるまちづくりの加速

- ① 中心市街地の活性化、定住人口をはじめ、交流人口や関係人口の創出、観光需要の喚起など、まちに人の流れを生み出す取組
- ② デジタル田園都市国家構想に基づく取組や、企業によるDX・GX、イノベーションへの投資などを促進するための取組

#### (2) 共生によるまちづくりの推進

- ① 「第4次男女共同参画プランとくしま」に掲げる、誰もが活躍できるまちの実現を推進するための取組
- ② 「徳島市SDGs未来都市計画」に掲げる取組
- ③ 地域問題解決に資する民間事業者を後押しできる体制を構築するための取組

#### (3) こどもまんなか社会実現のための子育て環境の充実

- ① 子育て世代が将来にわたる展望を描ける環境をつくるためのライフステージの各段階に応じたアウトリーチ型の支援体制強化に関する取組
- ② 子どもが安全・安心で快適に過ごすことができる環境づくりを推進するための取組

#### (4) 持続可能な行財政運営の推進

- ① 健康増進や公共施設マネジメント、さらには循環型社会の推進など社会課題の解決と将来的な財政負担軽減の両立を図ることでレジリエンスの向上を実現するための取組
- ② 人口減少等に伴う需要の変化を踏まえた既存ストックの活用による経費削減に係る取組

なお、上記の取組のうち特に注力して新たな施策を検討すべきものや、事業の見直しを

検討すべきもののほか、今回の予算編成過程において明らかにすべきことについては、随時、関係部局と個別に協議を行うものとする。

これらの事項に加え、これまでの行財政改革の取組により、本市の財政状況は好転しているものの、財政構造が大きく改善しているわけではなく、不確実性が高まる世の中に対応していくため、施策全体として、より一層、レジリエンス向上のための取組を進めていく必要がある。

こうしたことから、引き続き「徳島市行財政改革推進プラン 2021」に掲げた取組を着実に実行に移していくとともに、限られた財源の中で、より市民ニーズに合致した施策を展開できるよう、積極的に事業見直し等を行うこと。

また、新型コロナウイルス感染症は感染症法上の5類感染症へ移行し、景気は緩やかに回復しているものの、物価高騰等の動向が地域経済等に与える影響が不透明なことから、今後、国や県の動向に注視し、必要に応じて、迅速かつ的確な対応がとれるよう、準備を怠らないこと。

さらに、令和6年度予算を作成するに当たっては、各省庁の概算要求内容を精査し、徳島市の施策として合致する補助事業等がある場合には、積極的に検討し、要求することとされたい。なお、予算要求する補助事業等において、関係部局が複数に渡る場合については、互いに連携を図ったうえ、次年度予算要求資料を作成すること。